

家園

字体作者：周 慧琚

第14号



NPO法人 中国帰国者・日中友好の会
〒110-0016 東京都台東区台東 3-35-7
ペガサスミシンビル1階
TEL : 03-3835-9357 FAX : 03-3835-9358
<http://www.ab.auone-net.jp/~jc-yuko>



2015 年 7 月 15 日北京訪問 朝日新聞・大久保真紀記者撮影

目 次

★ 第 7 回定期総会開く.....	2
★ お祝いの言葉.....	3
★ 報恩感謝の旅 日中友好の使者になる	4～5
★ 戦後 70 周年記念公演会.....	6～7
★ 戦後 70 周年記念写真展.....	8
★ 新しい「孤児の家」.....	9
★ 最後の叫び	10～11
★ 本会活動記録・お知らせ・編集後記	12

NPO法人中国帰国者・日中友好の会 第七回定期総会開く

6 月 21 日、本会在台東区小島会館召开了 2015 年例行总会，当天有许多会员和赞助会员出席。

大会议题：

第一号议案 2014 年度事业报告・活动 决算报告及 2015 年度事业计划・活动预算的审议

第二号议案 役員再任及任期更新の审议

本着务实的精神，总会召开前，事務局将会议资料（含委任状）寄给会员，力求大家对会议精神有所了解。

本会成立以来，年年都有新的发展。2014 年度本着把本会建成以归国者为主体的“残留孤儿之家”的理念，努力办好各类教室和组织各种活动，吸引更多的归国者和家属参加本会。因此会员的人数也逐年增加，正会员和赞助会员总数已达到 373 人。

2015 年度我们计划完成如下事业。

- ・继续办好相談窓口
- ・办好各教室，开展好各项活动、吸引更多的二、三世来参加本会活动并成为本会会员。
- ・加强对外交流，进一步扩大本会在外界的影响和知名度。
- ・充分利用共同募金为饺子工房更新设备所提供的资金支持，加强与外部合作争取饺子工房有新的发展取得好的效益
- ・今年是终战 70 周年，要做好两件事：1，终战 70 周年纪念公演会 2，访问中国活动。

本届总会正值换届之年，选举产生了新一届的理事 28 名和监事 2 名。并选举产生了理事长 池田澄江，副理事长 3 人，宇都宮孝良，宮崎慶文，河村忠志。理事长任命過能国弘为事務局长，白山明德与大田昇两人为事務局次長。

6 月 21 日に台東区小島会館にて、本会第七回定期総会を開き、正会員と賛助会員の方多数出席頂きました。

総会は以下の議題が審議されました。

第1号議案 2014 年度事業報告及び活動報告、

2015 年度事業計画及び活動予算について

第2号議案 役員再任及び任期更新について

毎回総会の前に、事務局が各会員に資料を送付し、事前に会議の内容を把握していただくよう努力しています。

本会は 2008 年春の設立以来、年々発展しています。2014 年度から、本会を帰国者が主人公の残留孤児の家にする、という理念の下で、各教室の運営や催しの企画に力を入れ、多くの帰国者および家族を引きつけています。そのために、会員数も毎年増え続け、いま現在、正会員及び賛助会員数は 373 人に達しています。

2015 年度には、以下の活動を計画しています。

- ・引き続き相談窓口を開設する
- ・各教室を順調に運営させ、様々な活動を企画して、更に多くの帰国者が本会に参加いただくよう努力する
- ・本会の影響力や知名度を高めるために、外部との交流事業に力を入れる
- ・共同募金会の助成制度を利用して、設備の更新を図ることにより、餃子工房の更なる発展や収益の増加が期待できる。
- ・今年は戦後 70 年の節目にあたり、本会は成し遂げなければならない事が二件あり、その一つは戦後 70 年記念公演会。もう一つは終戦 70 年中国訪問活動である。

総会には、理事任期満了に伴う改選も行い、28 名の理事と 2 名の監事が選任されました。理事長には池田澄江、副理事長には宇都宮孝良・宮崎慶文・河村忠志の三名が選任されました。また、理事長は過能国弘を事務局长、白山明德と大田昇の二名を事務局次長に任命しました。



祝「中国帰国者・日中友好の会」設立7周年

安原先生のご挨拶(抜粋)

第7回の総会を無事に開くことができ、とてもうれしく思います。私達は、国に対して、皆さんにこのような酷い目に合わせた責任を課すと同時に、要求だけではなく、自分たちも努力をし、そして成果を広く国民に返す、そういう活動をしているNPOの存在意義はとても大きいと思います。

戦後70年を迎えて、いま日本は大きな分かれ道に来ている。簡単にいえば、日本がこれから戦争をする国になるのか、戦争をしない国になるのかの分かれ道、皆さんもそうだと思いますし、私も戦争をしない国であってほしいと思います。戦争をする国になろうと主張している人たちは中国を一つの口実にしています。そういう中で、皆さんが日中友好、日本と中国は戦争しないんだ、そういう国の関係ではないんだ、そういう関係を作っていく上で、皆さんの役割が大変大きいと思います。

私達弁護団は裁判が終わりましたが、みなさんの心意気を共に感じて、これからも皆さんと共に歩みたいと思います。

第7次总会能够顺利召开，我感到非常高兴。经历了各种残酷遭遇的孤儿各位，在向国家要求负起责任的同时，自己也在付出努力，把取得的成果回报给广大国民。我认为进行这些活动，NPO的存在其意义是非常巨大的。

迎来战后70周年的日本，正处于岔道口上。简单地说，日本今后要成为参与战争的国家还是不战的国家。不论大家还是我都希望日本仍然是不战之国。那些主张要参与战争的人把中国当成了一个借口。在这种情况下，要让日中友好，不再有战争，要发展这样的友好关系，大家起着非常大的作用。

对于我们律师团来说，虽然裁判结束了，但是，我们和大家的心情有共鸣，会和大家一起朝着这个方向努力。



小野寺先生のご挨拶(抜粋)

みなさん方がその活動を7年間積んで来て本当に充実した、素晴らしい活動をされて、それに対して、どうしても敬意を表したい、感謝を表したい、そんな気持ちで参加しました。

私が池田さんと、あるいは今は亡き菅原先生たちと最初にお会いした時から、このような充実した活動を皆さんが展開する、そんなことまったく思いもよらなかった。皆さんは、自らの権利を自ら立ち上がって、戦い取りました。決して、天から与えられたものではない。まして国から与えられたものでもない。みなさん方はその人権の為の全的な活動を戦い、そして今日また7年間しっかりその精神を維持して、活動をされている。そういう意味で、私は皆さんの活動に対して、心から敬意を表したい。

これからも、心は常に皆さんと一緒にある、ということを皆さんに知ってほしい。そして、皆さんの活動がより社会的な歴史的な役割を果たすことを本当に心から願っていることを知ってほしい。

各位在7年间，踏踏实实地进行了非常充实，也开展了非常了不起的活动。无论如何，都想向大家表达我的敬意和感谢，我是怀着这样的心情参加今天的总会。

回想起和池田女士以及已故菅原幸助先生初次见面的情景，我当时一点也没有想到今天的情景。我们自己的权利是通过我们的斗争而争取来的。绝不是天上掉下来，也不是政府施舍的。大家所做的一切都是为了我们的人权而进行的，并且7年以来一直保持着这种精神。在这一点上，我要从心里表达敬意。

在以后的岁月中，我的心永远和大家在一起；我从心底祝愿大家的活动，不论从历史的角度还是社会的角度，能发挥更大的作用。



河合弁護士のご挨拶(抜粋)

7年間皆さん仲良く団結してみんなの生活が楽しくなるように、本当によく頑張ってきてくれたと思うし、何回も行われた皆の発表会で、皆さんの稽古の成果や努力の成果、それを見る限り、中国残留孤児の家を作ってよかったと思っている。みなさんの努力で、歌も踊りも劇も上手になってきているのを、僕はこの目で確かめてきている。それから、餃子の製造販売なんだけど、初めはどうかと心配していたが、本当は評判が良くて売り上げが伸びているのを嬉しく思っている。

8月末、引っ越しをする。大家さんは私達の活動に共感して、家賃を安くくださった、その上、500万円も内装代として寄付してもらった。もちろん残留孤児は他のところに注文ではなく、自分の力で新しい中国残留孤児家を作っていってほしい、できれば節約してなるべく残ったお金は後の活動に貯めておく、というような気持ちでやってもらいたい。

私は人生の信条をいう、「本気ですれば、大抵のことできる」。二番目は「本気ですれば、なんでも面白い」。三番目は「本気でしていると、誰かが助けてくれる」。これからも皆で本気で中国残留孤児の活動を続けてやっていただきたい、と思うし、私も、本気でこれからも死ぬまで一緒に活動をするつもりです。

7年以来，各位携手并肩，团结一致，非常努力地让自己的生活变得多姿多彩。我参加了几次发表会，看到了大家平时的练习成果，我更认为这个孤儿之家的成立是非常好的一件事。我亲眼看到，在大家的努力之下，不论唱歌还是舞蹈或者演剧都有了可喜的进步。另外，对于饺子的制造贩卖，一开始有点担心。但现在评价越来越好，贩卖额也越来越高，我感到很高兴。

8月末，我们就要搬迁了。房主对我们努力的活动有共鸣，把房租便宜了许多，另外又寄付了500万。希望我们不要总是向他人提出要求，要靠自己的力量建设我们新的孤儿之家。尽量节约资金，把剩下的钱作为今后的活动经费。

再说一说我的人生信条、一、「真心做事，几乎所有事情都能成功」。二、「真心做事，会觉得所有的事都有趣」。三、「真心做事，一定能得到帮助」。希望今后大家能真心做事，我也会和大家一道生命不息，战斗不止。



報恩の旅——日中友好の使者になる (1)

文・宇都宮孝良

今年は戦後 70 周年の節目です。残留孤児として、あの 70 年前の戦争を誰よりも銘記しなければいけません。私達はあの憎らしい戦争の直接の被害者で中国の養父母に瀕死状態から救われて、育てられました。中国人民のおかげで、今の私たちがここにいます。中国人民の御恩は一生忘れられません。

2009 年の訪中に続いて、2015 年 7 月 11 日～17 日まで、NPO 法人中国帰国者・日中友好の会は再び報恩訪中団を結成し、中国を訪問しました。

私は養父母の墓を修繕のために、先立って佳木斯に帰省したので、途中から訪問団に加わりました。最初の活動はハルビン市南岗区役所の会議室で行われた懇談会でした。出席者はハルビン市在住の児童、駐瀋陽総領事、各界の支援者やマスコミ関係者など計 300 人余りでした。懇談会の主題を強調したように、掛けられた横断幕には「中国帰国者・日中友好の会 感恩聯誼」と大きく書かれていました。

池田団長が感謝の言葉を述べてから、養父母の代表、黒竜江省赤十字の代表者、日本駐瀋陽総領事、中国赤十字の代表者など次々に挨拶していただきました。その後、養父母に記念品を贈呈しました。

懇談会の後、文藝交流会が行われました。訪中団が出演した舞踏劇「中国媽媽」は注目を集め、観衆からの拍手が長い時間に渡り鳴りやまなかったのです。これからも、日中友好を続ける大きな方向に向かって、中日関係が将来にわたって発展するために、両国間の懸け橋となるよう、努力する決意を新たにしました。

今年纪念战后 70 周年，我们作为中国残留孤儿要铭记 70 年前的那场战争的历史。我们是那场战争的受害者。是中国的养父母把我们从死亡线上拯救过来并抚养成人。没有中国人民的养育就没有我们的今天，这个恩情我们永远不会忘记。

在 2009 年遗孤访问中国之后，本会于 7 月 11 日至 17 日，再次组团访问中国，报答中国人民和养父母之恩。

我为了给养父母修缮墓地，先于访问团回到佳木斯，中途和大家汇合。首先参加了在哈尔滨市南岗区政府礼堂举行的友好交流会。参加交流会的有哈尔滨市的少年儿童，驻沈阳总领事以及各界友人和媒体关系者，共计 300 多人。会场内悬挂着巨幅会标：中国归国者・日中友好之会感恩联谊会，突出了恳谈会的主题。

池田团长首先致感谢词，然后养父母代表黑龙江省红十字会的代表，日本驻沈阳总领事，红十字的代表先后发言。结束后向养父母赠送了纪念品。

恳谈会结束后，与会团体又进行了文艺交流。特别是我们访问团表演的舞剧“中国妈妈”，格外引人注目，赢得观众经久不息的掌声。



感恩团交流会



方正县中国養父母公墓



養父母の墓に献花

報恩の旅——日中友好の使者になる (2)

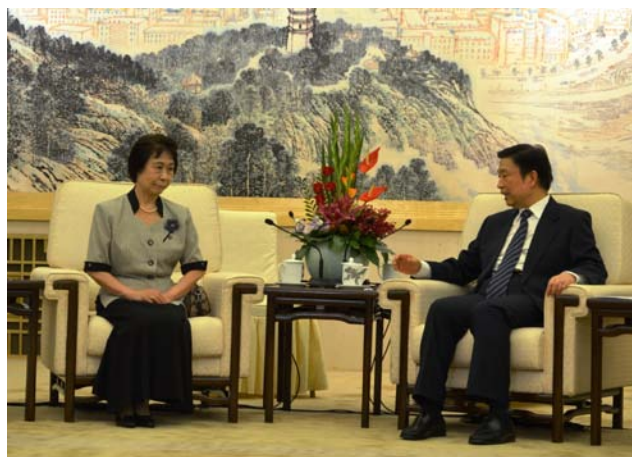
本会友好訪華団 54 人经哈尔滨乘机到达北京。7 月 15 日下午，在人民大会堂，全体成员得到了李源潮国家副主席的接见，李副主席亲自出迎并与每位代表团成员热情握手致意。

在接见大厅，池田澄江代表发言：我们又一次访问中国，今天就像回家一样温暖。作为残留孤儿，我们是 70 年前的战争的受害者，也是历史见证人。日中两国友好是共同心愿。我们大部分都已是 70 岁以上的高龄，但永远牢记中国人民的养育之恩。

李副主席亲切表示：欢迎大家远道而来，过去和今天，中国政府十分理解孤儿的境遇，悲惨的历史不容忘记。战争，给人类造成灾难和破坏。今后，中日两国不能有第二次战争。希望大家为促进中日和平相处做出贡献。明鉴历史，展望未来，相信中日关系会健康发展。我们没有忘记，残留孤儿曾经是新中国的建设者，中国是大家亲人，有什么困难，请一定告诉我们。

7 月 17 日，访华团顺利返回日本。

为纪念终战 70 周年访华，本会事先提出若干注意事项，加强了管理领导，分工明确。为期 7 天时间，访问了哈尔滨，方正县，北京等三地。联谊交流活动，演出文艺节目，慰问中国养父母，在方正县献花公墓。在人民大会堂，荣幸得到中国国家副主席的接见。在全体成员的共同配合努力下，克服种种困难，使这次有重要意义的活动，圆满完成。



池田澄江団長と李源潮副主席



日本国特命全権大使 木寺昌人と人民大会堂前にて

本会の日中友好訪中団の計 54 名のメンバーがハルビン経由で北京に到着しました。7 月 15 日午後、人民大会堂で李源潮国家主席に面会していただきました。李副主席自らお出迎えいただき、訪中団の皆一人一人と握手してくださいました。

大会議室で、まず池田澄江代表が発言して、「私達は二度目の訪中で、実家に帰ったように暖かさを感じています。残留孤児は 70 年前の戦争の被害者であり、歴史の証人でもあります。日中友好は私達の共通の願いです。残留孤児の殆どはもう 70 歳を過ぎましたが、中国人民の養育の御恩は永遠に忘れません。」

李副主席がその場でこんな言葉を述べられました、「遠くから来た皆さんを心から歓迎します。無論過去でも現在でも、中国政府は残留孤児の境遇を十分に理解しています。悲惨な歴史を忘れることは絶対許せません。戦争が人類にもたらしたのは、災難と破壊しかありません。歴史を鑑とし、未来に向かう精神で、中日関係の改善・発展を推進することを願っています。みなさんにその推進力になって貢献してほしい。私達は残留孤児が新しい中国の建設者であることを忘れてはいません。中国は実家だ、と思って、困ったことがあったら、是非言ってください。」

7 月 17 日、訪中団は中国訪問を終え、無事に帰国しました。

今回の終戦 70 周年記念訪中の前に、皆さんに対していくつか注意事項を伝え、関係者にはリーダーシップを発揮してもらいました。7 日の間に、訪中団はハルビン市、方正県、北京三か所で、中国養父母を慰問、日本人公墓への献花、交流懇談会への参加、また文藝披露するなど積極的に活動していました。特に李副主席が面会して下さったことをとても光栄に思います。

訪中団の皆さんの努力で今回の訪中は様々な困難を克服し、一連の活動を円満に終了、成功を収めました。



李源潮副主席会見



北京中日友好協会にて

中国归国者战后 70 周年纪念公演会成功举行

文·宫崎慶文

由公益财团法人 中国残留孤儿援护基金、所泽归国者交流会和 NPO 法人中国归国者・日中友好之会共同举办的中国归国者战后 70 周年公演会于 2015 年 8 月 26 日在埼玉县所泽市民文化中心举办。具有欧式风格可容纳 800 多人的大剧场坐满了来自埼玉、神奈川、千叶、山梨、东京等地中国归国者、所泽当地市民及各界日中友好人士。演出盛况，得到在场观众的热烈欢迎，很多人流下了热泪。公演会获得成功。

公演会准时在下午 1 点开始。共同举办的三方代表中国残留孤儿援护基金小林悦夫常务理事致辞并将归国者交流会会长福间典一和本会理事长池田澄江介绍给大家。来宾厚生劳动省大臣官房审议官谷内繁，中国大使馆公使郭燕和所泽市长藤元正人到会致辞。

公演会分为两个部分，第一部由纪实作家、残留孤儿的二代城户久枝和演员神田幸子向大家介绍并表演中国残留孤儿和残留妇人的苦难历程。还介绍了一对残留孤儿夫妇回国前后的生活经历。第二部分主要是文艺演出。由中国归国者交流会和本会共同演出。演出的「孤儿的眼泪」是新排的朗诵剧，和「中国妈妈」一样受到观众的欢迎，达到预期效果。其他节目同样得到观众的热烈的掌声、场面气氛热烈。

「中国妈妈」是感恩中国养父母的舞蹈剧。演出三年来，受到各界友好人士的欢迎，反响很大。在中国和在日本的演出，都得到大家的认可好评。编剧段晴先生看后，给予了充分的肯定和赞许。成了我们 NPO 中国归国者・日中友好之会的传统节目。

「孤儿的眼泪」是为了向日本国家追讨战争责任的音乐朗诵剧。今年是日本战后 70 周年，创作这个剧目的初衷，就是要告诉日本国民，诉说我们这些中国归国者，战争孤儿们在 70 年前那场战争中所受的苦难，至今难以忘怀。只是日本的国民对我们这个群体知之甚少，对我们是战争的受害者，战争的见证者了解的更少，加上国家有意向日本国民隐瞒 70 年前那段 14 年的侵华战争的历史。在战后 70 年的今天，我们必须告诉日本国民，那场战争不仅带给中国人民深深的伤害，也给日本国民带来深深的伤害，很多日本国民对那场战争不明真相，我们要把真实的历史展现在舞台上。

这个构思，在中村树人和中村惠子两位老师的支持下，我从今年 1 月开始动笔，但是对于一个从未涉足写

作的人来说困难可想而知，剧本得到有文学功底孙兰香和传记作家平井美帆直接帮助，热心的柳智子多次搜集资料，通过几易其稿，终于在 4 月下旬完成。张荻和真锅たか子将稿子翻译成日文。为了能把剧本搬上舞台，经中村树人的协助和修改，将剧本改写成分镜头剧本。平井美帆又一次修改剧本。在导演中村树人的精心编排下，由 28 人参加的演出人员，自 5 月份开始排练，到 8 月公演前，大家克服种种困难，坚持排练，特别是有几个克服身体的不适，参加排练，令人感动，这些我们都看在眼里，记在心上。在我们的演员当中，令人瞩目的是，有 4 位儿童他们和大人一样，早出晚归，认真排练，（他们的名字是中村博文、三上真代、永岩鸿佳、森野佳娜）。他们为这场演出作出了贡献。为了使演出取得成功，在平泽千惠子和大门高子的协助和推荐下，朗诵家小渊光世满怀激情地一次又一次地投入排练，获得好评，也感动了每一位参加排练的演员。为了增添演出效果，本会音乐教室栗山勝和刘金花两位老师花费心思为「孤儿的眼泪」配乐，取得了很好的效果。为了演出，我们的缝纫组中村惠子、森野美佳、関荣子和高桥由佳自己去买布料，牺牲休息时间剪裁、缝制演出服装，基本满足演出需要。北野燕里老师对于我们的新剧给予特别关注，不仅在排练时，亲临现场给予协助，并且将自己荒野座艺术团的演出服无偿地借给我们使用，她还找来照明师坂本衛老师给予具体指导。对于我们的新作，很多媒体跟踪采访，对我们的演出成功，起了推波助澜的作用。

「孤儿的眼泪」朗诵剧在当天的演出，在朗诵、灯光照明、配乐和演技的配合上，达到预期的效果，受到观众的好评和赞誉，获得成功。

最后，再次感谢参加公演会演出的全体人员。工作人员。感谢为了我们的演出，给予大力支持的各位老师。特别是要感谢 CCTV 大富的摄像师，把我们的公演会给予全程录像，并制作成 DVD。

这里要特别感谢中国残留孤儿援护基金在资金上的全力支持和对公演会细致周到的策划和安排，使公演会的顺利召开起到了保障的作用。

还要感谢所泽中国归国者交流会在租借会场及各方面的准备工作中所做出的努力。



中国帰国者戦後 70 周年記念公演大成功

翻訳：張荻

8月26日、埼玉県所沢市民文化センターにおいて、公益財団法人・中国残留孤児援護基金、所沢中国帰国者交流会及びNPO法人中国帰国者・日中友好の会の共同主催で、中国帰国者戦後 70 年記念公演が開催された。800 人収容の大劇場は東京、埼玉、神奈川や千葉から来た帰国者や支援者で満員となった。

公演会は 1 時に定時で始まった。主催者側の代表者、中国残留孤児援護基金の小林悦夫常務理事による開会の挨拶の後、中国帰国者交流会の福間典一会長と当会の池田澄江理事長を紹介して頂いた。厚生労働省の谷内繁官房審議官と中国大使館公使の郭燕さんからも開催の祝辞をいただき、開催を大いに祝った。

公演の第一部タイトルは「中国残留婦人や残留孤児の苦難の歩み」、ノンフィクション作家で残留孤児 2 世の城戸久枝さんと女優の神田幸子さん、出演して頂いた。第二部の曲芸の中では、本会が創作し初演した朗読劇「孤児の涙」は「中国媽媽」と同様、盛大な拍手を受けた。

「中国媽媽」は中国人民や養父母に感謝の気持ちを表すために作られた舞踊劇。発表してからの 3 年間、各界から大きな反響を呼んだ。中国でも日本でも皆さんに認められ、脚本を書いた段晴先生からも称賛を頂いた。今は本会のレパトリーになっている。

「孤児の涙」は、国家に戦争責任を追及するための朗読劇。今年は戦後 70 年の節目、この劇を作った目的は、日本国民に私達が 70 年前の戦争で受けた苦痛をいまだに忘れていないことを伝えたい。

日本国民は残留孤児の事をあまりわからない、「私達は戦争の被害者であり、証人でもある。」先の戦争は中国人だけではなく、日本人も多大な被害を受けたが、残念ながら、沢山の日本国民はその歴史の真実を知らない。そのために我々は舞台を通して多くの人に知ってもらいたい。

この考えに中村恵子さんと中村樹人先生が賛同し、積極的に支援してくださった。今年 1 月から、原稿を書き始めたが、書く経験のない私は、困難を極めた。幸いにも文学の才能が豊かな孫蘭香さんやノンフィクション作家の平井美帆さんにお手伝い頂き、柳智子さんからも熱心に資料を収集やアドバイスを頂戴した。原稿は数回にわたる校

修正の後、やっと 4 月の下旬に完成した。真鍋たか子さんと張狄さんに翻訳してもらった。その後、舞台化のために、中村樹人先生から協力を得て、シナリオを完成させた。平井美帆さんに日本語版のシナリオを作成していただいた。

中村樹人先生が自ら監督を務め、28 人の出演者を集めて、5 月から稽古を始めた。8 月の公演に間に合う為に、様々な困難を克服した。出演者の中に、病気にかかった方も数人居たが、みなさん自分のことを顧みずに、練習に励んだことに感服した。

更に注目すべき事は、4 人の子役。彼らは大人と一緒に朝早くから夜遅くまで、稽古に没頭し(4 人の名前は中村博文、三上真代、永岩鴻佳、森野佳那)公演の成功に大いに貢献してくれた。

平沢千恵子先生と大門高子先生の推薦で、朗読家の小渕光世さんの情熱的な語りも周りを感動させた。

栗山勝さんと劉金花先生は、より良い音響効果のために、ご尽力いただいた。

衣装や道具のために、服装担当グループの中村恵子さん、森野美佳さん、関栄子さんと高橋由佳さんは休み時間を費やして、自ら裁縫をして、衣装製作にあたった。

北野燕里先生も、私たちの新しい劇に対して、特別な関心を払ってくださった。稽古の時、いつも現場に臨んで、指導いただいた。その上、劇団「荒野座」の衣装を無償で貸し出していただき、更にご人脈を駆使いただき、照明の坂本衛さんをご紹介下さった。

マスコミの方々から私達の作品に興味を示され、公演当日、たくさんのメディアの方が付き切りで取材くださった。その力も私たちの成功の推進力となったに違いない。

「孤児の涙」には朗読、照明、BGM と演技などすべて文句のつけようがなく、期待以上の反響を得ました。

ここで、公演会の出演者、スタッフ、そして指導して下さった先生方に感謝を申しあげます。とくに CCTV 大富のカメラマンの方、最初から最後まで撮影して、DVD まで作ってくださったことは、本当に感謝の念に絶えません。

最後に中国残留孤児援護基金と交流センターのきめ細やかな企画や手配に感謝いたします。



国境を超えた人間愛 中国残留日本人孤児の物語 写真展

7月3日～7月8日、由本会协同五洲传媒出版社，株式会社亚细亚太平洋观光社，在东京有乐町，朝日展厅举行大型写真展。

通过大量历史图片，展示日本侵华战争遗孤的来龙去脉，以及中国人民以博大的胸怀收养并抚育数千名孤儿。几十年后他们在中国政府和人民的帮助下回到故乡。

这在世界上是绝无仅有的。在中国养父母身上，体现出超越了国境和民族，超越了文化差异的人间大爱。这次展览旨在通过对这段历史的重视，唤起了人们对往事的记忆，让后人不忘战争的残酷，珍视和平，从中国人民的博大胸怀中汲取力量。开创日中两国友好未来。

这次展览得到各界好评，达到预期效果。

7月3日～7月8日まで、本会は五洲伝媒出版社、株式会社アジア太平洋観光社と共催で東京の有楽町にある朝日ホールにて、写真展を開きました。

大量の歴史的な貴重な写真が展示され、日本の侵略戦争から生まれた残留孤児のゆえと同時に、中国人民が広い心を持って、数千人の日本人孤児を育て上げ、数十年後、彼らを祖国日本に送り返したことも説明されました。

このことは、古今東西の歴史にも例を見ないでしょう。中国人養父母から、その国境、民族や文化を超えた人間の愛を感じさせられました。今回の展示会はその歴史的な瞬間の記録を通して、皆の忘れかけた記憶を喚起し、後世の人に戦争の残酷さや平和の尊さを伝え、日中両国が中国残留日本人孤児をめぐる歴史を鑑とし、未来に向かってさらなる友好関係を発展させる、と願っています。

展覧会は各界から好評を得て、大成功を収めました。



新しい残留孤児の家 旧貌换新颜

文・河村忠志

初秋九月，秋高气爽。残留孤儿之家各位的心情，也像这九月的天气一样，格外清爽，愉悦。这是因为他（她）们又有了一个新的“家”。

台东区台东 3-35-7 の一階と地下一層，就是本会新的会址所在。走进一楼进入眼帘的首先是宽敞明亮的事务室和日本語、中国語、パソコン教室。此外还有接待室兼小会议室和库房等。各室在一楼错落有序，这在旧会址是不可能做到的。再到地下一层，首先进入的是歌舞，合唱，戏曲，太极拳和乒乓球等教室的活动室，长方形的活动室前面一台崭新的雅马哈电子钢琴，使活动室锦上添花。活动室的装修虽然不豪华，但却有“家”的温馨。地下一层还有饺子工房，更是焕然一新。室内干净整洁，崭新的速冻冰柜，冷冻库等排列整齐，新购入的热水器，ガス台等也是应有尽有。这些新设备又是从何而来呢？这要感谢东京共同募金，为本会提供了110万日元（本会自筹38万日元）购入了速冻冰柜、普通冷冻库、绞肉机和空气清净器，从而使饺子工房设备实现了更新换代，保证了饺子制作的质量，同时也为饺子工房的发展、创效创造了条件。

新会址比旧会址面积大了近一倍，环境改善了。能有这样理想的新会址，这要感谢房东インフォメーションネットワークサービス株式会社稲田勝起社長的大力支持。当他得知我们残留孤儿的情况后，不仅房租减半，而且还提供了500万日元的装修费。此外，还要感谢古月商事有限会社小野隆輔社長，在此会址搬迁之际，为本会寄付了100万日元。活动室那台雅马哈电子钢琴，是小野社長送给我们的最好礼物。当然最要感谢的还是河合先生。在本会成立的八年中，他倾注了一腔热血，时刻关注着残留孤儿事业。八年来，每年都需要支付1000万日元保证本会的正常运转。可以说没有河合先生，就没有本会的今天……。

这次新会址的装修，也是我们孤儿（高橋カツ）的二代高橋強和他的朋友们。特别是高橋強从7月初开始，历时两个月，按着本会的要求，不辞辛苦，不计报酬，认真组织，装修取得了满意的效果，得到了大家的好评。大家都说，“真是我们残留孤儿的好二代”。

中国帰国者・日中友好之会已走过了八个春节，在此金秋时节，已是硕果累累。今后，我们要以搬入新会址为起点，把本会真正办成残留孤儿之家，不辜负社会各界对我们的关心和支持。



空高く澄み渡る九月、残留孤児の家の人たちの気持も、この秋晴れのようにさわやかでした。というのも、新しい「家」ができたからです。

新しい家は台東区台東 3-35-7 の一階と地下一階にあります。一階に入ってまず目に飛び込んでくるのは、広々とした事務室と教室。ここで、日本語、中国語、パソコンの授業が行われます。他に小会議室と倉庫もあります。古い事務所では、これだけの部屋を一階にすっぽり収めることはできませんでした。

地下一階は、ダンス、合唱、戯曲、太極拳、卓球用の活動室があり、奥にはヤマハの電子ピアノが置かれ、活動室に花を添えています。活動室の内装は豪華ではありませんが「家」らしい温かさにあふれています。それから新しくなった餃子工房。最新式の急速冷凍庫、普通の冷凍庫が並び、湯沸かし器、ガス台など、必要な物がすべて揃っています。共同募金会からの助成金110万円と本会の自己負担分38万円と合わせて、急速冷凍庫、冷凍庫、ミンサー、空気清浄機を購入しました。餃子工房の設備更新により、製品の品質保証と餃子工房発展のための条件を整えられました。東京共同募金会に厚く御礼申し上げます。

新しい家は古い家よりも広く環境が改善されました。このような理想的な家を持つことができたのは、家主であるインフォメーションネットワークサービス株式会社の稲田勝起社長のご支援のお陰です。稲田氏は残留孤児の家の現状を知り、家賃を大幅に値下げ、更に本会に改修費用として500万円寄付してくださいました。稲田勝起社長に厚く御礼申し上げます。また、活動室のヤマハ電子ピアノは、古月商事有限会社小野隆輔社長からの贈り物です。小野社長は、本会移転の際、100万円を寄付してください、電子ピアノを購入することができました。心より御礼申し上げます。そして、一番大きな感謝を申し上げなければならないのはやはり河合先生です。本会設立より8年間、残留孤児支援事業に心血を注いでくださいました。この8年、毎年本会運営の為に1000万円の経費を使っておられます。河合先生がいらっしゃらなければ、今日の本会はなかったでしょう。

移転にあたり、我々孤児（高橋カツ）の二世である高橋強氏らが改装工事をしてくれました。特に高橋強氏は、7月初めより2カ月かけて、本会の依頼どおりに、苦勞を厭わず、安い費用で一生懸命に取り組み、すばらしい家を作ってくれました。みんな「本当に良い2代目だ」と満足しています。

中国帰国者・日中友好の会は8年が過ぎ、この美しい秋に大きな実りを続々と手にしています。今後もこの新しい家を出発点として、本会が真の意味で残留孤児の家になれるよう、各界の皆さまのご期待に添えるよう努力してまいります。（翻訳：真鍋たか子）

最后的呼唤

詩：白山明德

多少寒冷过了
迎来多少回花开
长久中 困扰的心结
不得已啊！被套上“残留孤儿”称呼
隐痛的烙印，心灵重载

趁着衰弱还没病入膏肓
轻轻地呼唤——
“妈妈，你在哪里？”
思念 期盼 失望中等待

传说：母亲最知什么痛苦
可在 1945 年灰冷冬天
妈妈丢下了我
牵着哥哥远离走开…

传说：母亲最怕和儿分别
但妈妈回国安居生活
大海隔断一份应有的母爱

传说：母亲温和、美丽
我却没有点点印象
噙泪不眠那明月窗外

趁着尚能理智思维
喃喃地呼唤
“妈妈 你在哪里？”
也许 小时候我多病瘦弱丑陋
战乱无助 不容疼爱

生涯翻弄早已忘却
你还有一个舍弃男孩
也许 历史不公早日注定
你已不愿回忆 不会找寻

「あたりまえ」哟
户籍上 早就抹掉我的记载

一个国家侵入异国大地
抛弃几千名无辜孩童
那已是罕见的荒唐
有多少母亲
至今无视自个血脉骨肉
历史难题谁去解开
青山绿水 消失了回响
夕阳淡薄 还有光彩

不怨 妈妈今日的无奈
是妈妈曾给予的生命
用双手把我托付一个淳朴的民族
是中国的母亲哺育
是中华宽厚温暖的胸怀
已不怨妈妈如此冷淡
困苦磨练坚强
那石头缝里长出劲草
雨雪过后群雁归来

——妈妈
多想给您寄封 问安的贺年卡
多想看到 您的笑脸
多想为您送上 鲜艳的康乃馨
多想让您品尝 亲手做的酸菜水饺子
多想带上一家人 能回故里看见到
那黄色手帕风中摇摆

这是最后的呼唤哟
“妈妈 你在哪里？”
殷殷情感至死难改

（写在终战 70 周年）

最後の叫び

いくつかの厳しい冬が過ぎ
 いくつかの春を待った
 とつぜん「残留孤児」と呼ばれ
 胸の奥深くに刻み込まれた烙印に
 また傷ついた

生ある限り
 ささやいてみよう
 「かあさん どこにいるの？」
 僅かな希望と期待を胸に待ち続けよう

昔の人は言った
 「母が一番辛いことを知っている」
 なのに 1945 年の冬
 兄さんの手だけを引いて
 ぼくを置き去りにした

昔の人は言った
 「母は子との生き別れが最も耐え難い」
 なのに かあさんは故里に帰って
 安らかな暮らしを選んだ
 そして、母との絆は広い海によって隔てられた

昔の人は言った
 「母は優しく美しい」
 なのに ぼくの記憶にはない
 月明かりの中 涙で眠れない夜を過ごす

思考回路が働くうち
 小さな声で
 「かあさん どこにいるの？」
 もしかして逃避行の中 病弱のぼくは
 助からないと思ったのかな？

人生の波にもまれていくうちに ぼくを忘れたのかな？
 ひとり 捨てられた男の子がいた
 不公平な運命は前から決まっていたの？
 かあさんは探すのも 思い出すのも
 いやになってしまったのかな？

「あたりまえ」だね
 ぼくの名はとくに戸籍から消えていた

異国の大地への侵略で
 幾千の子どもたちがひとりぼっちになった
 それは類をみない放縦なこと
 多くの親子が離れ離れになった
 いまもぼくはどこの誰なのかわからない
 青い空 豊かな山河 こたまは返ってこない
 沈みゆく夕陽 わずかな光は残っている

かあさんのやむを得ない選択 ぼくは憎んでいないよ
 かあさんは いのちを 与えてくれた
 素朴な民族にぼくを託してくれた
 中国の母に育てられ
 中華民族の寛く温かい愛をもらった
 無情な母を もう憎んでいない
 いろんな苦難を乗り越え ぼくは強くなった
 石の間から生えてきた草のように
 雨雪を過ぎ やってくる雁のように

かあさん
 「お元気ですか」の年賀状を送りたい
 かあさんの笑顔を見たい
 鮮やかなカーネーションの花を送りたい
 手作りの酸菜の水餃子を食べてもらいたい
 故里で風に揺れる黄色いハンカチを
 ぼくの家族に見せたい

これが最後の叫び
 「嗚呼 おかあさん どこにいるの？」
 この熾烈な想い 死ぬまで消えることはない

(戦後 70 周年に思う)

翻訳: 松本莉恵

「NPO 法人 中国帰国者・日中友好の会」活動記録 (2015 年 5 月～10 月)

06/21	本会第 7 届定期总会召开（小島教育会館）	小島社会教育会館にて 2015NPO 総会を開催。
06/24	参加牧洋纪念临床医院主办的公演会（赤羽会館）	赤羽会館にて牧洋記念クリニック主催の公演で舞踊劇を披露。
07/03-08	摄影展览会「超越国境的大愛——中国残留日本人孤児的故事」参与主办（有楽町）	有楽町マリオンにて写真展「国境を越えた人間愛——中国残留日本人孤児の物語」を共催
07/11-17	訪問中国感恩之旅 哈尔滨感恩中国養父母联谊会（文芸演出） 方正県日本人公墓献花参拜 北京人民大会堂李源潮副主席亲切接见 出席中日友好協会主办招待会 访问北京市内敬老院（文芸演出） 参加北京红十字主办座谈会	中国養父母報恩感謝の旅催行 ハルビンにて交流会を開く。舞踊劇など披露 方正県日本人公墓参拝 北京にて、李国家副主席と面会 中日友好協会主催レセプションに出席 北京市内敬老院訪問舞踊劇など披露 北京赤十字主催座談会に出席
08/15	与荒野座舞台演出	北とぴあにて荒野座主催の舞台に舞踊劇客演
08/26	在所澤市参与主办 終戦 70 周年公演会 本会表演舞踊劇・合唱・京劇等	所沢ミュージズにて終戦 70 周年記念公演共催。舞踊劇・合唱・京劇等披露
08/27	NPO 事務所搬迁	事務所移転 台東区台東 3-35-7 ペカサスミシンビル 1F へ
09/02-10	池田理事長受邀出席北京阅兵式	北京にて池田澄江理事長閲兵式に出席

※お知らせ※

★新「孤児の家」★

オープニングパーティ

日時:10 月 14 日(火)

場所:本会 B1 教室

★資料展★

養父母と孤児の歴史を伝える

日時:11/11～16 日

場所:日本教育会館

その後

長野県阿智村にて開催予定

★新年会★

日時:2016 年 2 月 14 日

場所:台東区民会館

《家園》編集委員（第 14 号）

白 山 明 徳	河 村 忠 志
二 田 口 国 博	張 狄
春 暁	惟 遠
眞 鍋 た か 子	中 嶋 い つ 子
レイアウト	松本莉恵

編 集 後 記

風来雨落，秋来叶归。生活是一回又一回花开花落；人生是一场又一场无悔穿越。静静地走，默默地看，无论风雨，不言坎坷，慢慢品位这辈子的青涩和成熟。历经生活的艰辛和繁华，始终相信：努力就会有收获。